

# こども未来部 保育園・幼稚園・こども園

## 第1 監査の概要

- 1 監査の種類 定期監査（財務監査・行政監査）
- 2 監査の対象
  - 監査対象部局 こども未来部 保育園・幼稚園・こども園
  - 対象年度 令和4年度
  - 監査対象事項 財務事務等
- 3 監査等の実施場所及び監査期間
  - 実施場所 各保育園・幼稚園・こども園
  - 監査期間 令和5年10月17日、令和5年10月23日
- 4 監査の主な実施内容
  - 四日市市監査基準に基づき、監査対象部局への聞き取り調査や過去の監査結果を踏まえて、事務事業に内在するリスクを想定し、リスク発生の可能性や発現時の影響度の観点からリスク評価を行うとともに、財務事務や経営に係る事務の管理が法令等に適合し、正確で、最少の経費で最大の効果を挙げているか、その組織及び運営の合理化に努めているかなどについて、関係帳簿・書類の抽出調査、実査及び監査資料に基づく関係職員への質問等の方法により監査を行った。

## 第2 監査対象の概要

- ・市立保育園17園のうち、次の4園の監査を行った。
  - ときわ保育園、海蔵保育園、羽津保育園、日永中央保育園
  - （羽津保育園、日永中央保育園は書面監査のみ）
- ・市立幼稚園15園のうち、次の4園の監査を行った。
  - 常磐中央幼稚園、羽津幼稚園、海蔵幼稚園、泊山幼稚園
  - （海蔵幼稚園、泊山幼稚園は書面監査のみ）
- ・市立こども園7園のうち、次の2園の監査を行った。
  - 楠こども園、神前こども園
  - （楠こども園、神前こども園は書面監査のみ）

## 第3 監査の着眼点

- 1 想定されるリスクからの着眼点
  - 事務事業におけるリスクについて事前調査でのリスク評価や聞き取りにより設定した。
  - (1) リスク評価チェックリストの検証
  - (2) 出先機関のリスク
  - (3) 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク
  - (4) 施設の補修が速やかに行われないリスク

- (5) 多様化する課題に対する保護者支援が不十分となるリスク
- (6) 複雑な雇用形態の中での情報共有阻害のリスク
- (7) 経験年数の少ない職員が不安を抱え込むリスク

2 3 E (経済性、効率性、有効性)・合規性等の視点からの着眼点

事務事業の合規性や正確性のみならず、経済性、効率性、有効性の視点等から設定した。

#### 第4 監査結果

上記の着眼点に基づき監査を行った結果、次のとおり、内在するリスクや事務の一部に是正又は改善を要するものなどが見受けられた。今後の事務執行にあたっては、これらに十分留意するとともに、その措置を講じるよう要望する。

なお、措置を講じたときは、遅滞なく報告されたい。

#### 1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

##### (1) リスク評価チェックリストの検証

リスク評価調査においては、全体的にリスクは平均的な評価となった。事前調査の結果、収入事務、支出事務等について、一部事務処理誤りが見受けられた。

リスク評価チェックリストの該当項目

(評点が4点以上又はリスクの発現が見られたもの：発現していた場合 ○)

チェック項目		想定されるリスク	評点	発現
収入事務	地方税、分担金、使用料、手数料等を徴収する業務を行っているか	法令等に基づいた金額を徴収していないリスク 減免の制度又は運用が適切でないリスク 収入未済となるリスク 収入未済が適正に処理されないリスク	2 / 12 ※	○
現金管理	現金や金券(切手・収入印紙・駐車券等)の取扱いがあるか	現金・金券の紛失、数え間違い、処理遅れ、着服等のリスク	4 / 8 ※	
支出事務	歳出予算の執行を行っているか	不適切な金額での支出、支出相手方の誤り、支払遅延など支出が適正に行われないリスク	2 / 12 ※	○
財産管理	土地若しくは建物又は公の施設を所管しているか	土地、建物、施設が安全に使用できないリスク 保有コストに見合う効果がないリスク 有効活用されないリスク	4 / 4	
情報管理	個人情報を取っているか	個人情報の漏えいや目的外使用、データの改ざん、滅失等のリスク	6 / 6	

組織・人員	時間外勤務を多く行っているか	時間外勤務により、職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク 業務量に対し職員数が不足することにより、業務が停滞するリスク	4/6	○
-------	----------------	--	-----	---

※：出先機関であることによる加算あり (評点/リスク最大時評点)

## (2) 出先機関のリスク

- ◆保育業務と書類作成、書類の確認作業等の事務仕事を行う必要があり、さらに、出先機関であることから、事務上の不備が生じやすいのではないかと。また、保育幼稚園課のチェックが行き届きにくいことはないか。

### リスク発現の可能性 (○予防策あり、△可能性あり、×発現)

- × 書類作成等において不明な点があれば、早急に保育幼稚園課に確認を行い、解消している。保育幼稚園課のチェックを受けているため、修正等で保育園等と保育幼稚園課との間のやりとりに時間がかかることもあり、今回監査対象園において支払遅延が見受けられた。 【全保育園・幼稚園・こども園】

## 意見

### 【全保育園・幼稚園・こども園】

消耗品等の購入における支出事務において、支払遅延が生じることはないよう、事務担当者は、会計管理課が実施する研修に参加し、基本的な知識の習得に努めること。また、起案時に会計管理課が作成する「会計事務の手引き」等を再確認し、適正な支出事務について徹底すること。

## (3) 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク

- ◆ワーク・ライフ・バランスを推進するため、業務の効率化や休暇取得の促進、時間外勤務の縮減等の職員の働き方の改善がなされているか。

### リスク発現の可能性 (○予防策あり、△可能性あり、×発現)

- × 今回監査対象園において、年間360時間を超える時間外勤務(\*)を行っている職員が5人見受けられた。その主な要因は、コロナ陽性者の発生に伴う記録・連絡等の事務量の増加、また、育児短時間勤務職員の代替業務を行ったことによるものである。  
職員のワーク・ライフ・バランスの充実を図るため、働きやすい職場環境づくりを行い、働き方改革の取り組みを進める必要がある。 【全保育園・こども園】

\* 「四日市市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する規則」において、1年の時間外勤務の上限は、原則として360時間以内と規定されている。

## 意見

### 【ときわ保育園・楠こども園・神前こども園】

時間外勤務が年間360時間を超える職員が見受けられた。所属長は、職員の時間外勤務を分析して、職員配置や業務分担の再確認等を行うこと。加えて、職員のワーク・ライフ・バランスの充実を図るため、働きやすい職場環境づくりを行い、働き方改革の取り組みを進めること。また、AI技術の活用等による業務改善をはじめとする業務効率化等による時間外勤務の削減に努めること。

## (4) 施設の補修が速やかに行われないリスク

- ◆遊具、フェンス等の設備の破損や錆び等により安全性に欠けた状態が続くことはないか。

### リスク発現の可能性（○予防策あり、△可能性あり、×発現）

△ 一部の園で、遊具に少々の錆が見受けられるものの、業者による点検において安全性に問題はないと診断された。職員が設備を適宜チェックして、園で執行可能な金額で実施できる修繕は速やかに行うよう努めており、保育幼稚園課の所管となる修繕については補修の要望をしている。また、老朽化により破れたフェンスが存在する園があったが、園児が立ち入らない場所であり、一時的にネットをかぶせ修繕する計画となっている。

【全保育園・幼稚園】

## 意見

### 【常磐中央幼稚園】

ア 園の西側フェンスは高さ1.2mほどと低く、容易に人が乗り越えられる高さである。防犯上のリスクがあるため、こども園化に併せて整備すること。

### 【海蔵保育園】

イ 園児の安全の観点から、施設全体について、日頃から注意深くチェックを行い、少しでも気になる場所があれば速やかに対応すること。

## (5) 多様化する課題に対する保護者支援が不十分となるリスク

- ◆就学前の不安感、子育て全般についての不安感を抱く保護者は多くおり、ひとり親家庭で一人で悩みを抱えている保護者もいる。特別な支援が必要な園児の保護者は不安を抱えやすい。課題の多様化の中で、そういった保護者への対応が不十分となっていないか。

### リスク発現の可能性（○予防策あり、△可能性あり、×発現）

○ 多様な課題に対する保護者支援には、保護者と職員との日常的な関係性が欠かせないため、送迎時に職員が声をかけ、園児の園生活での様子を保護者に伝えている。園に相談しやすい雰囲気づくりに努めていることから、子どもの成長、発達についての相談につながっており、保護者の思いを受け止めている。特別支援の必要性を感じる場合はこども発達支援課やあけぼの学園と協力し、療育につなげている。ひとり親家庭のケースについてはこども家庭課など関係機関と連携して保護者支援を行っている。

また、保護者同士での情報交換ができる機会を大事にしている。

【全保育園・幼稚園・こども園】

#### (6) 複雑な雇用形態の中での情報共有阻害のリスク

- ◆ 保育園・こども園の職員には、正職員も含めさまざまな雇用形態があるため、勤務時間が異なる職員間の意思疎通、情報共有が難しくなることにより、職員間の連携に支障をきたし、職務の達成度が低下するようないか。

##### リスク発現の可能性 (○予防策あり、△可能性あり、×発現)

△ 職員は出勤後、事務所のホワイトボードで連絡事項を確認している。園児の情報は引継ぎノートを作成して各クラスの職員間で共有し、クラス担当から園長、主任に報告している。休憩パートや長時間保育担当への引継ぎは主に口頭で行うなど全職員が情報共有している。

【全保育園・こども園】

#### 意見

【全保育園・こども園】

引継ぎは漏れがないように行うこと。また、重大事項は保育日誌等、書類として記録を残すこと。

#### (7) 経験年数の少ない職員が不安を抱え込むリスク

- ◆ 新規採用職員等の経験年数の少ない職員や異動した職員において、業務上の多くの問題を抱えることで、心理的な負担から心身に影響を及ぼし、ひいては離職につながったりするようないか。

##### リスク発現の可能性 (○予防策あり、△可能性あり、×発現)

○ 経験豊富な職員が、経験年数の短い職員に対し積極的に声をかけるよう対応し、周りの職員が支える環境を整えている。若手職員同士のつながりや、研修の受講を促すこと、他の機関を紹介するなど、一人で抱え込むことのないようにしている。また、幼児教育センターにおいて、幼児教育アドバイザーによる相談を行っており、園や指導係と共有を図っている。

【全保育園・幼稚園・こども園】

## 2 3 E (経済性、効率性、有効性)等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

#### 意見

【保育園・幼稚園・こども園共通事項】

##### ① 内部事務管理について【法規性の視点】

ア 内部事務の基本的な部分で、いくつかの事務処理誤りが見受けられた。これは、職員の業務に関する知識不足や単純なミスに加えて所属内でのチェック・牽制体制が十分に機能していないことに要因がある。所属長は定められたルールに基づいた事務執行の意識を職員に定着させるとともに、所属において発生しやすいミ

ス等によるリスクを認識させ、日常的に確認すべき事項を定型化して確認するなど、内部チェック体制を整備して、内部事務管理の徹底を図ること。

また園長が決裁を行う際には、決裁権者としての自らの責任をあらためて認識したうえで行うこと。

イ 事務担当者は、会計管理課が実施する研修に参加し、基本的な知識を習得すること。

ウ 園児が使用する教材的な内容の消耗品の購入が多く、起案も多くなるとのことである。効率化を図って起案数を削減し、支払遅延を起こさないようにすること。

② 職員の研修について【効率性の視点・有効性の視点】

ア コロナ禍でオンライン研修が始まり、現在は対面の研修と併用している。時間的な面においても効率のよいオンライン研修をさらに受講すること。

イ 令和5年度から開始された幼児教育センターのさらなる活用や、研修についての課題や意見があれば、保育幼稚園課に要望すること。

③ エアコンの設置について【効率性の視点・住民福祉の向上の視点】

エアコンが設置されていない部屋もあるが、こども園化に伴い、全園の全室エアコン設置を検討すること。

【保育園・幼稚園・こども園・保育幼稚園課】

④ 四日市市立保育所処務規程及び四日市市教育委員会教育長所管事務専決規程について【合規性の視点】

ア 保育園・幼稚園における「1件10万円未満の物品の購入、印刷の発注、施設及び備品の修繕に係る発注に関する事」は、園長専決と規定されているが、実際は全て園長の承認のうえで、保育幼稚園課長が決裁している。保育所処務規程には「園長は専決することができる。」とあるものの、専決規程との整合性や事務の合理化の観点から、保育幼稚園課が中心となり専決について整理すること。また、専決の整理に当たっては、園で散見される支払遅延の解消といった観点からも検討すること。

イ こども園における「1件10万円未満の物品の購入、印刷の発注、施設及び備品の修繕に係る発注に関する事」について、現在は「四日市市立こども園管理規則」第24条（園長の所掌事務）に基づき、保育園・幼稚園と同様に事務執行されているが、本条は、専決規程として解することができない。こども園についても、専決規程を早急に整備すること。

【全保育園】

⑤ 保育・教育施設向けICTサービス「C o D M O N」について【有効性の視点】

令和5年10月から「C o D M O N」を使用し、保護者に園だより等を配信している。安全対策を含め効果的な利用ができるように保育幼稚園課へ今後取り入れたことや問題点などを共有すること。

## 【ときわ保育園】

### ⑥ 職員間のコミュニケーションについて【有効性の視点】

コロナ禍の影響で中止されていた行事が再開されている。このような状況下で経験豊富な職員と初めて行事に参加する若手職員が共に準備を行うため、仕事の進捗を可視化し、負担を分散している。職員間のコミュニケーションは重要であり、園長や主任はスキルを伝える役割を果たし、リーダーシップを発揮すること。

### ⑦ あそぼう会での保護者への対応について【住民福祉の向上の視点】

未就園の子どもを対象に園庭・施設開放をし、園児との交流や保育者とのふれあいを目的としたあそぼう会は、毎回約20組が参加している。支援が必要な子どもも参加しており、職員は保護者の相談に応じ、助言をしており、今後も継続して支援を行うこと。

### ⑧ 園環境の整備について【効率性の視点・住民福祉の向上の視点】

#### 【海蔵保育園・常磐中央幼稚園・羽津幼稚園】

ア 職員室において、プリンター、コピー機、ファックスが配置され、多くのスペースを占有している。それぞれの機器には共通の性能も含まれており、スペースの確保も含めて効率化を図るため、保育幼稚園課と協議し、複合機器の活用による統合を検討すること。

#### 【常磐中央幼稚園】

イ 職員室において、機器を繋ぐLANケーブルが室内環境の良化を妨げている。こども園化の計画に伴い、Wi-Fi環境の整備を検討すること。

ウ 園庭の樹木が高くなりすぎており、まとめて剪定を行うなど、整備すること。

#### 【羽津幼稚園】

エ 防犯カメラの設置されていない園庭は目視すればよいとのことであるが、侵入のリスクがあるため、こども園化に伴う施設整備をする際に設置すること。

オ 幼稚園に設置されている遊具において、こども園化に伴い低年齢児の使用の仕方や、管理方法を検討すること。

#### 【海蔵保育園・常磐中央幼稚園】

### ⑨ 現金の取扱いについて【法規性の視点・効率性の視点】

保育園における職員の給食代や、幼稚園における園児の給食代は、園職員が集金しその日に金融機関で納付または通帳への入金をしている。事故の生じることのないよう、また、職員の負担軽減のためにも、キャッシュレス化の方法について保育幼稚園課と協議すること。

#### 【海蔵保育園】

### ⑩ 消火器の設置方法について【法規性の視点・有効性の視点】

園舎内に消火器が段ボールで覆った状態で設置されており、消火器自体の存在が分かりにくい状況にある。園児が誤って使用しないための措置とのことであるが、園児の安全に関わることであり、管轄の消防署と適切な設置方法について協議すること。

⑪ 特別支援を必要とする園児のサポートについて【住民福祉の向上の視点】

特別支援を必要とする園児について、あすなろ学園で開発された「CLM（チェック・リスト・イン三重）」と個別の指導計画を活用し、また、保護者ともコミュニケーションをしっかりと取りながら、早期発見と一人一人の園児に応じた適切な支援に努めている。今後も継続してサポートを行っていくこと。

【常磐中央幼稚園】

⑫ 災害発生時への備えについて【住民福祉の向上の視点】

椅子収納庫が適切に固定されておらず、地震発生時に転倒する恐れがある。速やかに対応すること。

⑬ 登園の安全確認について【住民福祉の向上の視点】

連絡なしに登園しなかった場合、園から何度も電話を入れたり、対応に努めており、また、必要に応じて家庭訪問も行っている。園児受け渡し時の相手の確認も含め、引き続き、園児の安全を第一に考え、対応すること。

⑭ 事業所との連携強化について【住民福祉の向上の視点】

特別支援を必要とする園児が障害児通所支援事業所に通所している場合、園児の受け渡しをはじめ、事業所職員との情報共有等連携強化を図ること。

## 評 価

【羽津幼稚園】

園の整備について

羽津幼稚園の園内や園庭はきれいに使用されており、美化に努めている。倉庫等も整理整頓がなされていた。引き続き、園の管理を行うこと。